

第4回関西広域防災計画策定委員会結果概要

- 1 日 時 平成24年1月12日(木) 10:00~12:00
- 2 場 所 兵庫県災害対策センター 1階 災害対策本部室
- 3 出席者 別紙「出席者名簿」のとおり
- 4 内 容

(1) あいさつ(井戸広域連合長)

これまで3回にわたり議論いただいたが大詰めとなってきた。プラン案を今月下旬の広域連合委員会、3月上旬の広域連合議会に提出する。

(2) 主な意見

- ・ 「ボランティア団体、府県民にも参考にされるプラン」とあるが、民間に力を貸してほしいということをもっと明確に示すことが重要ではないか。
- ・ 「広域連合だからできること」について、一般の人にもわかるように平易な文章で書かれているが、かえって漠然としたものになっており、より具体的に記載した方がよい。
- ・ 「災害時要援護者への避難支援」について、避難と避難生活支援に区分して記載した方がよい。
- ・ 「防災分野の人材育成」について、行政職員の災害対応力の向上に関する項目だけでなく、地域防災力の向上に関する項目も記載する必要がある。
- ・ 「減災対策の普及啓発」について、学校での防災教育に関してもう少ししっかり記載する必要がある。
- ・ 道路、港湾、空港等の通行可否情報を、国、府県間で共有する仕組みが必要である。
- ・ 「可能な限り早期に災害ボランティアセンターを立ち上げ」とあるが、「直ちに・・・を立ち上げ」が適当である。
- ・ 原子力災害対策編について、琵琶湖の放射能汚染のリスクについてどのように対応していくか、今後、検討する必要がある。
- ・ プランに定めたそれぞれの対策をどのように進めていくか、また進捗をどのようにチェックしていくかを、今後、検討する必要がある。
- ・ プランを具体化するにあたっては、企業・団体等の意見を聞く機会を設けてほしい。
- ・ プランと県、市町村の地域防災計画との整合を図っていく体制を、今後、検討する必要がある。
- ・ 報道機関に対し、首都圏のキー局が被災しても、関西の局で代替できる体制を整備することや災害報道のネットワーク強化等について働きかけていく必要がある。

第4回関西広域防災計画策定委員会出席者名簿

【委員】

氏名	所属・職
石川 永子	阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター 主任研究員
梅木 直幸	日本防災士会和歌山県支部 支部長
太田 直子	たかしま災害支援ボランティアネットワーク「なまず」 代表
河田 恵昭	阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター センター長
神田 彰	公益社団法人関西経済連合会 地域連携部長
岸谷 義雄	財団法人兵庫県消防協会 会長
木村 玲欧	兵庫県立大学環境人間学部 准教授
牧野 吉明	亀岡市篠町自主防災会 会長
村上 仁士	徳島大学 名誉教授
室崎 益輝	関西学院大学総合政策学部 教授
山下 淳	関西学院大学法学部 教授

敬称略、五十音順。 印は委員長、 印は副委員長を示す。

【オブザーバー】

団体名
陸上自衛隊中部方面総監部
近畿管区警察局
第五管区海上保安本部
大阪府下消防長会
福井県
三重県
奈良県
鳥取県
京都市
大阪市
堺市
神戸市